



特別研究会報告要旨

(2002年4月2日)

WTO加盟と中国農業

(中国人民大学) 張 象枢

中国人民大学教授で中国農業経済学会副会長でもある張象枢氏が来日されたのを機会に、「WTO加盟と中国農業」という演題で、農林水産政策研究所霞ヶ関分室にて、特別研究会が開催されました。WTOへの加盟という新しい状況下における中国農業の現状についてご講演をいただきました。

1. WTO加盟は中国農業を変化させる契機

WTOに加盟したことにより、中国農業は、以下のような変化を加速化させる契機を得たと考えられます。この契機を生かし、中国は農業分野だけでなく、経済全体の改革を押し進めることが可能となりました。

中国を計画経済から市場経済に移行させる契機

中国農業を国際化させる契機

中国農業を近代化させる契機

2. 中国農業の課題

現在、中国農業は、次のような課題に直面しています。

中国は人口が多いわりに、耕地も水資源も少ない国です。一人当たりの耕地面積は世界平均の半分以下です。灌漑されている耕地は少なく、洪水や干ばつも頻繁に起こります。このため農地の質は低く、水質も悪化しています。

こうしたことから、農業の労働生産性は極めて低く、農産物の生産コストはとても高い状態です。中でも労務費の占める割合は非常に高率です。

3. 取り組むべき課題

今後、中国農業はつぎのような対策に取り

組むべきです。

まず、農業構造の改革が早急に必要です。特に野菜や果樹などの集約的な農産物に土地と労働力を集中させることが望まれます。

経済計画の改革を進めるべきです。特に農村部における税や流通システムの改革が必要です。また、農村部の都市化を加速させるためには、農村地域の人口を減少させるべきでしょう。

農業科学技術を高度化し、早急に普及させるべきです。

また、WTOのグリーンボックスを生かした政策を立案していくべきです。

(文責 島田聡)

(2002年4月4日)

イングランドとウェールズにおける 農地価格のヘドニック分析

(招聘研究員) ダビッド・マディソン

1. はじめに

英国でも農地価格に関してこれまで多くの分析がなされてきたが、比較的狭い地域を対象にした場合には、気候的要因について取り扱うことができなかった。他方、広範囲な地域の農地価格を分析した場合には、農地の平均価格を用いていたために、気候条件や高度、土質の差異が農地価格に与える影響については分析されてこなかった。そこで、本報告では、広範な地域の個々の農地価格を用い、気候的条件や土質等の要因が農地価格にどのような影響を与えているかについて明らかにする。なお、このような分析手法はヘドニック法と呼ばれるものであり、広く用いられてきている手法であるにもかかわらず、農業分野における適用事例はそれほど多くない。

2. データについて

この分析では、農家は土地に関する様々な特質について十分な情報を持っており、それ